CARVIN

V3

THREE CHANNEL TUBE GUITAR AMP

取扱説明書

SOUNDHOUSE
株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は CARVIN V3 をご購入いただき、誠に有難うございます。
製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

ご使用になる前に取扱説明書をお読み下さい。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は販売店にご相談ください。
2. 感電防止の為、使用中は部品に触れないでください。
3. 各装置の設置を完了させるまでは電源を入れないでください。
4. ヒューズを交換する場合、必ず先に電源プラグを抜いてください。
5. 40℃を超える環境で本体を使用することはお止めください。
6. 本製品は屋内使用専用です。屋外では使えません。また、雨天や湿気の多い場所での使用はお止めください。火災や感電の原因となります。
7. 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用してください。
8. 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意ください。
9. 電源ケーブルが踏まれたり、挟まれたりしないよう注意してください。
10. メーカーによって供給された付属パーツ以外は使用しないでください。
11. 本体は通気性の良い所に設置し、周囲に可燃物や爆発物を置かないようご注意ください。また、使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
12. 本体の掃除をする際は乾いた布のみを使用してください。
13. AC100V-120V、50/60Hz にてご使用ください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店にご連絡ください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

主な特徴

戦車のように頑丈に作られた Carvin V3 は、オールチューブアンプでありながら、ハードな使用にも耐えうるタフネスさを誇ります。3 チャンネル独立コントロールにより、ブルースからヘヴィメタル、ラウドロックまで幅広く対応する歪みを造り出します。

ー柔軟なゲインコントロールー

チャンネル 1 とチャンネル 2 は同一設計のオーバードライブチャンネルですが、それぞれ 3 つの異なるドライブ、EQX エキスパンデッドトーン回路の設定が可能です。
チャンネル 3 はクリーンチャンネル、独自のドライブコントロールと 3 ポジションスイッチを持ち、ピュアで煌びやかなチューブクリーントーンを出力します。

ーマスターイコライゼーションー

V3 はディープ、ミッドカット、ブライトの 3 つのマスターイコライザーを搭載しています。一般的なギターアンプに搭載されているイコライザーとは異なり、これらのコントロールは、パワーアンプ出力に作用し、最終的なサウンドメイクが可能です。

ートーンコントロールと EQXー

パッシブタイプの BASS、MID、TREBLE トーンコントロールにより、幅広いトーン調整が可能です。この幅広いトーンコントロールを可能にしたのが密閉型の 1M ポットです（多くのギターアンプは 250k ポットを使用しています）。
各チャンネルの EQX スイッチチャンネルは、スタンダード EQ と エクスパンデッド EQ を切り替えることができます。スイッチを ON にするとより広い TREBLE、MID、そして BASS の周波数帯域をカバーします。プレゼンスのコントロールは、音のエッジを調整するよう設計されており、抑え目に設定すればスムース且つ暖かなサウンド、ツマミを上げると、より抜けが良いサウンドになります。

ー2 つのスマートエフェクトループー

2 つのエフェクトループ（シリーズとパラレル）を切り替えることができます。1-3 のチャンネル間で変更する時に設定を呼び出しできるので、「Smart」ループと名づけました。例えばチャンネル 1 のループをオフにする、チャンネル 2 のみにループ 1 を設定する、両方のループをチャンネル 3 に設定する、など様々な組み合わせで利用することができます。
テールスイッチはセンド信号のみをオフにし、リバーブやディレイを自然に減衰させることができます。

ーブーストー

フットスイッチ、またはMIDIによってボリュームをブーストする事ができます。ブーストつまみでブーストの量を設定し、ソロ演奏時などギターサウンドを前面に出したいときにブーストをオンにする事により、アンプの出力を最高9dBまでアップさせることが可能です。

ーMIDIメモリー

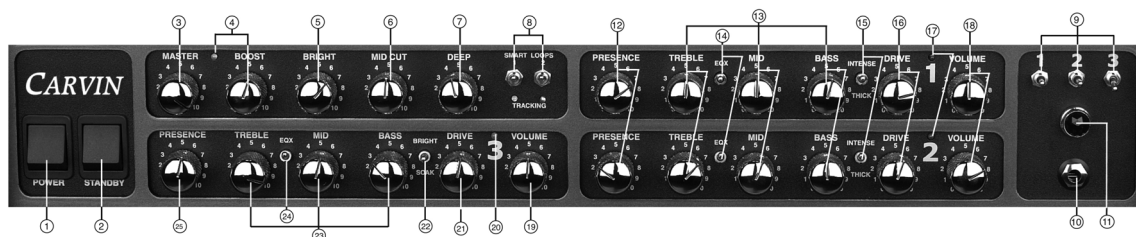
チャンネル（1-3）、ループ1と2（ON/OFF）、そしてブースト（ON/OFF）の設定が可能です。

ーEL34パワー管ー

その滑らかな歪み、レスポンスの良いサウンド、信頼性から、V3のパワー管にはEL34が採用されています。高出力なパワー管のコンプレッション特性はリードギターのダイナミックレンジに反応します。柔らかなピッキングをした際はクリーンなサウンドになり、逆にアタックを強調したピッキングには、その通りに反応したパンチのあるサウンドが得られます。

クイックスタート

電源を入れる前に､正しい電源､電圧のコンセントに接続しているか確認してください。ボリューム、ドライブのつまみを一旦全てOFFにし、各トーンつまみをセンターの位置に合わせます。別売のフットスイッチ、FS44を使用する際はリアパネルのフットスイッチ端子に接続してください。ここまでの設定が終わったら、電源スイッチを入れ、真空管が温まるまで2-3分待った後、スタンバイスイッチを入れてください。徐々にボリュームを上げ、トーンつまみを調整します。

フロントパネル

1.　電源スイッチ

メイン電源をオン/オフするスイッチです。電源がオンの時はスイッチが青く点灯します。

2.　スタンバイスイッチ

メイン電源をオンにしたあと、2-3 分ほど時間をおいてチューブを暖めてから、スタンバイスイッチを入れてください。アンプの電源を切るときは、スタンバイスイッチをオフにしてから電源スイッチをオフにしてください。

マスターセクション

これらのコントロールはアンプからのすべての出力に影響します。

3.　マスターボリューム

全 3 チャンネルの最終的な音量を決定します。

4.　ブーストコントロールと LED

FS44 フットスイッチ、または MIDI プリセットを使用して、9dB までボリュームをブーストします。ブースト機能がオンの時、緑の LED が点灯します。フットスイッチを使わずにブーストを切り替える場合は、本マニュアルの MIDI プログラムの項目を参照ください。

5.　ブライトコントロール

5kHz 以上の高音域を強調させることができます。

6.　ミッドカット

ミッドカット周波数とそのレベル両方を可変する画期的なコントロールです。抑え目に設定すると、900Hz 付近の周波数をマイルドにカットします。フルにあげると、450Hz 付近の周波数をカットします。

7.　ディープコントロール

サブハーモニックレンジでの低域をコントロールできます。よりタイトなサウンドを得たいときに有効です。

8.　スマートループと LED

各チャンネルのエフェクトループ設定を呼び出します。変更しない限り、現在のチャンネルにループを設定するだけで、スマートループ機能がこの設定を保存します。ループ 1 はシリーズループです。そして、ループ 2 はパラレルループです。MIDI をプログラムしている間も LED は点灯します。

チャンネルの選択と入力

9.　チャンネルセレクトスイッチ

チャンネル 1、2、そして 3 のスイッチを切り替えるスイッチです。選択したチャンネルのボリュームコントロール横にある LED が点灯します。FS44 フットスイッチを使ってチャンネルを選択することも可能です。これらのスイッチは MIDI のプリセットにも使用されます。

10. ギター入力

ギターを接続する標準フォン入力端子です。

11. ブルージュエルライト

電源が ON になると青く点灯します。

チャンネル 1 と 2　オーバードライブ

V3 には各チャンネルによって異なるキャラクターの歪みが設定されており、幅広い音作りを可能にしています。V3 は 2 つのオーバードライブチャンネルを同じ様に設定して、その後に微細な違いや劇的な変化をつける、という使い方もできます。

12. プレセンス

高周波数帯域を調整して、よりブライトなサウンドを得ることができます。

13. トレブル、ミッド、バスコントロール

各周波数帯域の量を調整するつまみです。最初はセンター(5)の位置に合わせて、その後好みのトーンになるようにつまみを調節します。高域に関してはプレゼンスも合わせて調整してください。

14. EQX

スタンダード EQ と エクスパンデッド EQ を切り替えるスイッチです。 スイッチを On にするとより広い帯域の周波数をカバーします。

15. ドライブモード　3 ポジションスイッチ

ドライブチャンネルのゲインのスタイルを変更する 3 ポジションスイッチです。3 タイプから選択します。

-「INTENSE」（上）最もハードなディストーションです。迫力ある低域、滑らかで抜けのよいサウンドです。

-「CLASSIC」（中央）鋭いレスポンスのオーソドックスなオーバードライブです。

-「THICKNESS」（下）－　きめ細かい中域、そして煌びやかな高域の歪みです。

16. ドライブコントロール

ツマミを 4 以下にすると、マイルドな真空管のサチュレーション、4 から 6 に設定するとより多くのハーモニクスとダイナミックなサウンドが得られます。フルに歪ませるには 6～10 の間で設定してください。フィードバックが起こる際は、ドライブを絞るか、ギター側のボリュームを絞ってください。

17. LED チャンネルインジケータ

チャンネル 1 を選択すると青の LED が点灯します。
チャンネル 2 を選択すると赤の LED が点灯します。

18. チャンネルボリューム

使用するチャンネルのボリュームを調整します。エフェクトセンドから出ている信号のレベルも変化します。バランスを崩すことなく、すべてのチャンネルの音量を変えたい時はマスターボリュームをコントロールしてください。

チャンネル 3 クリーン

19. クリーンチャンネルボリューム

クリーンチャンネルの音量を調整します。

20. チャンネル 3　LED インジケータ

チャンネル 3 が選択されている際、黄色く点灯します。

21. クリーンチャンネルドライブ

ヘッドルームが十分にあるクリーンなサウンドを得るには、最初は 5 以下に設定してください。歪みをあげるに従って真空管のダイナミクス、ハーモニクスが加わります。

22. ドライブモード　3 ポジションスイッチ

トーンキャラクターを変更する 3 ポジションスイッチです。

- BRIGHT(上) -高域を強調したクリーンサウンドです。
- CENTER(中央) -ヘッドルームの豊富なクラッシックなクリーンサウンドです。ドライブツマミをまわすと豊かなハーモニクスとマイルドなコンプレッションが得られます。
- SOAK(下)- プリアンプステージの全周波数を満遍なくブーストします。

23. トレブル、ミッド、ベース

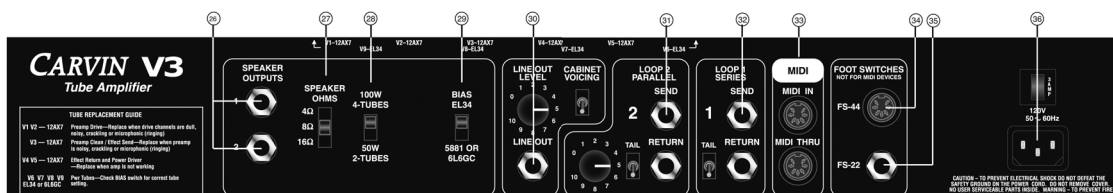
各周波数帯域の量を調整するつまみです。最初はセンター(5)の位置に合わせて、その後好みのトーンになるようにつまみを調節します。高域に関してはプレゼンスも合わせて調整してください。

24. クリーン EQX スイッチ

スタンダード EQ と エクスパンデッド EQ を切り替えるスイッチです。 スイッチを On にするとより広い帯域の周波数をカバーします。

25. クリーンプレゼンス

高周波数帯域を調整して、よりブライトなサウンドが得られます。

リアパネル

26. スピーカー出力端子

スピーカーキャビネットを接続する端子です。2 台のスピーカーキャビネットを同時に接続する事が可能です。この端子はパラレルで結線されています。パラレルで接続される事を想定した上で、スピーカーの合計インピーダンスを計算してください。

27. インピーダンススイッチ
接続するスピーカーのシステムに合わせて、インピーダンスを4Ω、8Ω、16Ωの中から選択します。

28.　パワー管選択スイッチ
最大の出力を得るにはパワー管選択スイッチを4TUBE 100Wに設定します。2TUBE 50Wを選択すると、全体のレベルが下がり、パワーアンプが早めにクリップします。ただしボリュームは3dBしか変わりません。

29.　パワー管バイアススイッチ
パワー管をEL34から5881(6L6GC)に変更したいとき、リアパネルにあるこのスイッチで外部バイアスを切り替えます。このスイッチが正しく設定されていないと熱が発生し、真空管を痛めることがありますのでご注意ください。内部のバイアストリムコントロールの調整に関しては販売店にご相談ください。バイアスを設定するには、まず、スタンバイスイッチの端子間の電流を測定します。(スタンバイスイッチをオフにしてください)アイドル電流はどの真空管のタイプでも100mAに設定してください。

30.　ボイスドラインアウト出力
ラインアウト用の標準フォン端子です。キャビネットの鳴りをシミュレートした信号をミキサーやレコーダーに送ることができます。

31.　エフェクトループ2 パラレル - センド/リターン端子、テールスイッチ
エフェクトループ2は、パラレルの配線となっていて、オリジナルのシグナルとは別にプロセッサーからエフェクト信号が追加されます。これにより音質を損なう事なく、且つノイズを最小限に抑えることができます。センド端子からエフェクターの入力へ、エフェクターの出力からリターン端子に接続してください。プロセッサーの調整ができない場合、または、ノイズが発生する場合には、ループ2のつまみでエフェクトのレベルを調整してください。
テールスイッチはループを切った後にリターン端子のみをアクティブに保持し、リバーブやディレイを自然に減衰させることができます。
32.　エフェクトループ　1　シリーズ　- SEND/RETURN/TAIL
エフェクトループ1は、シリーズ接続の配線となっています。プロセッサーを通ったすべての信号をアンプに送ります。センド端子からエフェクターの入力へ、エフェクターの出力からリターン端子に接続してください。
まず、プロセッサーのミックスの設定を調整します。通常プロセッサーのレベルを再調整して、Loop1がONであってもOFFであってもボリュームが同じになるように設定します。

もし、ご使用のプロセッサーにシグナルのダイレクト ON/OFF の設定が有る場合は ON にしてください。テールスイッチはループを切った後にリターン端子のみをアクティブに保持し、リバーブやディレイを自然に減衰させることができます。

33.　MIDI IN / THRU

5-ピン MIDI ケーブルを使用して、MIDI IN 端子に MINI コントローラを接続してください。他に MIDI 機材があれば THRU 端子と接続してください。（ページ最後の MIDI プログラムを参照ください。）

34. FS44　フットスイッチ接続端子

フットスイッチは別売の CARVIN FS44 をご使用ください。。「1」、「2」、「3」とアンプのチャンネル通りのラベルが貼られています。「EFFECT」と表示されたボタンはブースト機能の ON/OFF が出来ます。この端子に MIDI 機器は接続できません。

35. FS22 フットスイッチ接続端子

別売の FS22 フットスイッチを接続すると、エフェクトループの ON/OFF ができます。

36. 電源ケーブルソケット/ヒューズ

電源ケーブルを差し込むソケットです。表示の電圧、ヒューズの値が正しいことを確認の上、電源ケーブルをしっかりと差し込んでください。電源ケーブルソケットの上にサーキットブレーカーが搭載されています。ブレーカーが動作している際はアンプの電源を抜き、電源の接続、スピーカーとの接続もしくは真空管に問題が無いか確認してください。

MIDI

MIDI プログラム機能

1～100 までの MIDI プログラムパッチで、以下の設定を保存します。

a.）1、2 または 3 のチャンネルの選択。
b.）LOOP1 と LOOP2 オン／オフ設定。
c.）BOOST オン／オフ設定。
ボリューム、トーンとドライブモードの設定は保存されません。

MIDI/プログラムモード

1.）設定を保存したいチャンネル(1, 2, 3)の SELECT スイッチを押します。
2.）ステップ 1 で選択したチャンネルのスイッチを押したまま、他の 2 つのスイッチを押し、同時に離してください。ループ 1LED が点滅します。
3.）MIDI コントローラから保存したい MIDI パッチナンバーを選択（送信）してください。ループ 2LED が点滅すると設定を確定して通常動作が再開されます。
パッチを保存する前にブーストスイッチを入れるには､上記ステップ 1､2 を実行してから、ループ 1 スイッチを押し、離してください。緑色のブースト LED が点灯します。その後 1～3 を実行しパッチを保存します。

MIDI レシーブチャンネルの変更

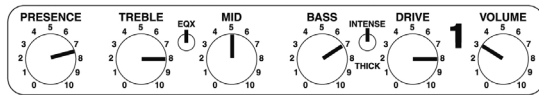
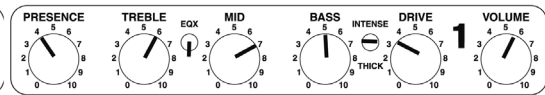
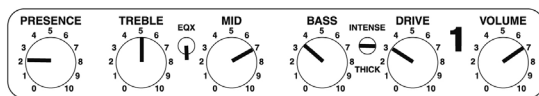
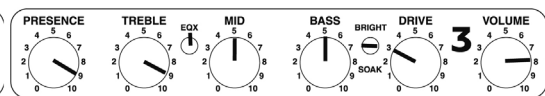
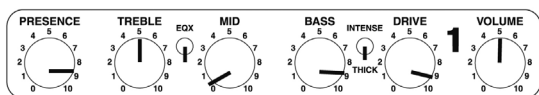
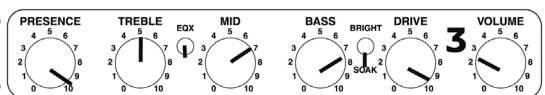
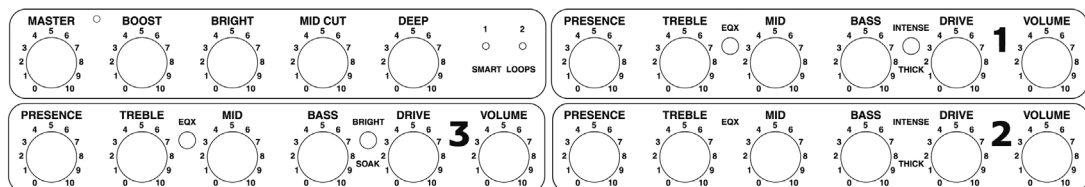
1.）フロントパネルの 3 つのセレクトスイッチチャンネルを全てを同時に押し、離してください。ループ 1 の LED が点滅します。
2.）セレクトスイッチ 1,2,3 を押して、MIDI チャンネル 1,2,3 を選択してください。ループ 2LED が点滅すると設定を確定して通常動作が再開されます。

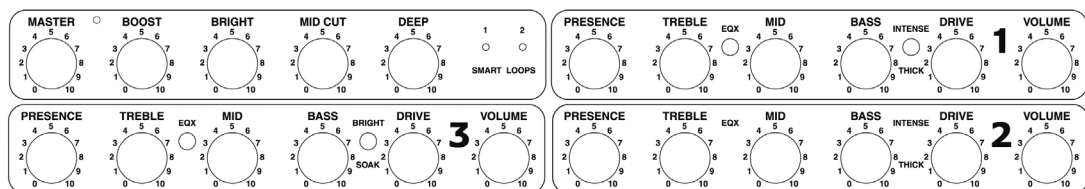
ヘルプセクション

リードチャンネルのフィードバック

LEAD チャンネルのドライブ、トレブル、プレゼンスをフルにあげるとフィードバックを起こします。他のチューブアンプと同様、これは正常な現象です。フィードバックやノイズを抑えるには、ドライブを 5-7 程度に抑えてください。

推奨セッティング

サンプル設定:カッティングリード

サンプル設定：クラシックロックリズム

サンプル設定：スムースリード

サンプル設定：スーパークリーン

サンプル設定：モダンヘビー

サンプル設定:ブルースブレーカー

お好みの設定を記載下さい

お好みの設定を記載下さい

製品仕様

定格電力	50W 100W(切り替え)RMS
出力インピーダンス	4、8、16Ω(切り替え)
入力インピーダンス	220,000Ω
トーンコントロール	BASS、MID、TREBLE、PRESENCE、EQX
CH1 感度	クリッピング時 1mV
CH2 感度	クリッピング時 1mV
CH3 感度	フル出力時 16mV
チャンネル	3 チャンネル切り替え
MIDI 機能	チャンネル、エフェクトループ、ブースト切替 100 種類のパッチ切り替え可能、5 ピン端子
ライン出力	1.5VAC@締各 100W
プリアンプチューブ	12AX7 x 5 本(デュアルステージ)
パワーアンプチューブ	EL34 x 4 本 (5 極電子管)
キャビネット	ポプラ 7 プライ
サイズ、重量	64.5(W)×26.7(H)×24 (D)cm、38.3kg
オプション品	CV3200 カバー、FS42 フットスイッチ、FS22 フットスイッチ、 412VT、412VB(4 x 12 スピーカーキャビネット)

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より１年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。
但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。 RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。